

2018年度LAセミナー ダイジェスト

今からでも間に合う! 卒論セミナー!!

な か み み た め ～内容も体裁も大切に～

卒業論文作成の支援として、中央図書館の学生サポートデスクで活動するラーニング・アドバイザー(以下LA)によるセミナーが10/10に開催されました。LAのKOUMURAがその様子をお伝えします。

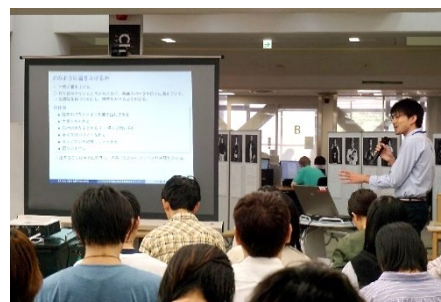
筑波大学ではほとんどの学類で卒業論文の提出が必須となっています。しかし「卒論に必要な文献やデータは集まったけど、どうやって書いたらいいの?」という学群4年生、「何となくテーマは決まったけど、そもそも卒論ってレポートと何が違うの?」という学群3年生など、卒論に不安や疑問を持つ学生も多いのが現状です。今回のセミナーは明日からの卒業論文執筆に役立つような「レポートと論文の違い」「卒業論文の具体的な書き方、構成」についてのお話でした。卒業論文執筆のヒントとして、経験豊富な現役大学院生のLAがセミナーを開催しました。



第1部 レポートと論文の違いって!?では、特に「内容(なかみ)」の部分としてレポートと論文の違いを紹介しました。そこでは、とある学会での「あなたの研究知見は面白い。ただそれは○○学会にどのように貢献する知見なのか」という問いから、卒業論文の最大の特徴は「既存の研究群を踏まえて、より新しい見解を提示すること」が重要であるとしていました。つまり、卒業論文では既存の研究に対する新しい知見＝「オリジナリティ」(独創性)が求められるものであり、妥当性(客観性)と説得力(訴求力)が必要であるとしていました。

第2部 論文の書き方では、特に「体裁(みため)」について、書き方、構成において具体的な目次を例として出し、3年生が読んでもわかる論文を書くことを念頭に、専攻・分野に合わせた論文の構成をイメージすることが重要であることを紹介しました。さらに、人文社会科学系や自然科学系の基本的な構成例、提出前のチェックリストを出していました。

そして最後に、より詳しいことや個別でないに対応できないことについては「困ったときはLAデスクで相談しよう!」とまとめました。



セミナー当日は最終的な参加者が43名となる大盛況であり、参加者の皆様から「分かりやすかった」「また開催してほしい」などの感想を頂きました。卒業論文を執筆するにあたり参考になる点が多く、有意義なセミナーだったと感じてもらえたのだと思います。大学生であれば誰でも抱く不安や疑問を解決するヒントが見つかるセミナーでした。



第1部講師
LA UEHARA



第2部講師
LA NAKAMURA

学生サポートデスクでは、卒業論文だけでなく、レポートの書き方や資料の調べ方、学生生活のことなど、様々な個別相談にお答えしています。スケジュールや事前予約については、附属図書館webサイトをご覧ください!

<https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/lib/support/la>

